

2019年度 島根県精神保健福祉士会総会

2019年度 公益社団法人日本精神保健福祉士協会島根県支部総会

議 案 書

日 時：2019年5月18日（土）14：00～15：15

場 所：地域活動支援センターふあっと（出雲市武志町 693 - 1）

地域交流ホームつどい

島根県精神保健福祉士会

<https://shimanepsw.jimdo.com/>

## 次 第

●開 会

●議長選出

●定足数報告

●会長挨拶

●議 案 【第 1 号議案】 2018 年度事業報告及び収支決算に関する件

【第 2 号議案】 2019 年度役員を選任に関する件

【第 3 号議案】 2019 年度運営方針及び事業計画に関する件

【第 4 号議案】 2019 年度一般会計収支予算及び特別会計に関する件

【第 5 号議案】 日本精神保健福祉士協会島根県支部災害対策計画に関する件

【第 6 号議案】 島根県精神保健福祉士会規約の変更に関する件

●報告事項 【報告事項 1】 ワーキンググループ活動について

【報告事項 2】 島根県への提言・要望活動について

【報告事項 3】 寄付及び義援金について

【報告事項 4】 電子メールの活用にかかる会員のアドレス登録について

【報告事項 5】 県士会ホームページの活用及び報告書の提出について

●議事録署名人選出

●閉 会

# 【第1号議案】2018年度事業報告及び収支決算に関する件

## 1. 定例会及び研修会等の開催

### ●定例会

- ・第1回定例会 5月19日（ふあっと）  
実践報告「隠岐精神科医療の現状報告と課題」  
報告者 隠岐病院 金阪幸之氏
- ・第2回定例会 7月14日（パルメイト出雲）  
2018ソーシャルワーカーデイ  
体験談「アルコール依存症と回復の道のり」 島根県断酒新生会会員・家族会員  
講演「これからのアルコール依存症の支援を考える」  
講師 松江赤十字病院 精神神経科部長 室津和男氏
- ・第3回定例会 10月20日（宍道公民館）  
インシデント・プロセス法による事例検討会

### ●研修会 2月17日（多伎コミュニティセンター）

- 映画上映「夜明け前～呉秀三と無名の精神障害者の100年～」  
講演「権利擁護と意思決定支援について」  
講師 児童心理療育センターみらい 施設長 石田健一氏  
グループワーク

### ●第6回基幹研修Ⅰ（鳥取・島根合同） 8月19日（米子コンベンションセンター）

（※2018年度公益社団法人日本精神保健福祉士協会「生涯研修制度」委託事業）

### ●第34回中四国精神保健福祉士大会 島根大会 11月23日～24日（松江テルサ）

大会長：貝谷 昭

実行委員長：森廣 晃一

大会事務局：エスポアール出雲クリニック 平野洋平（事務局長）・形部周平・水岩田淳

運営委員：青木朋子・足立須和子・足立孝子・足立 仁・飯島健太・飯島竜司・糸田美由紀  
佐藤寛志・高尾由美子・建田浩司・戸谷亜矢子・豊島さゆり・深貝登志子  
村社克紀・矢野喬夫

大会テーマ：理念と技術の調和を求めて～我が事・丸ごとリカバリー～

基調講演「リカバリーとは何か～リカバリーの考え方と実践の視点～」

講師 早稲田大学人間科学学術院人間科学部健康福祉学科教授 田中英樹氏

パネルディスカッション「リカバリーにかかわる実践報告～医療・地域・当事者の立場から～」

特別報告「離島の精神科医療を守りぬく～隠岐病院からの報告～」

分科会（①ワークショップ「SAT-Gライトを活用したギャンブル障がい支援」②実践報告「夢を支える」③ワールドカフェ「それぞれのリカバリー」④インシデント・プロセス法を用いた事例検討）

各県連絡会（貝谷会長・県土会事務局）

## 2. 理事会の開催及び入会（承認）者・退会者報告

●開催日：毎月第3水曜日 19：00～ 場所：宍道公民館

開催日：4月18日、5月19日、6月20日、7月18日、8月21日、9月19日、10月20日  
11月21日、12月19日、1月16日、2月20日、3月20日

### ●入会（承認）者・退会者報告

入会者 9名（正会員6名 賛助会員3名）

退会者 4名（正会員2名 賛助会員2名）

	入会（承認）者	退会者
正会員	三谷翔太（松江青葉病院） 三原隆文（西部島根医療福祉センター島根療護園） 佐々木則行（益田市障害者福祉センターあゆみの里） 家迫優人（島根県立こころの医療センター） 日野聖子（社会福祉法人わかば） 山口倫子（島根大学人間科学部）	石橋基紀（社会福祉法人やまゆり） 田中仁美（松ヶ丘病院）
賛助会員	小池順司（松江保護観察所） 恒松道祥（ヴィレッジせいわ） 春日裕嗣（こなんホスピタル）	安部悠子（平成記念病院） 三島康文（雲南市立病院）

## 3. 公益社団法人日本精神保健福祉士協会（以下、本協会）及び支部活動関係

6月17日 定時総会（東京ファッションセンターHall Annex）村社代議員

6月30日 中国ブロック災害対策連絡会（岡山県精神科医療センター）森廣理事・平野理事

8月26日 第1回中国ブロック会議（サン・ビーチ OKAYAMA）貝谷会長・村社代議員

9月14日～15日 全国大会 in 長崎（長崎ブリックホール等）事務局（家迫）

11月18日 全国災害対策委員講習会（TKP 秋葉原カンファレンスセンター）森廣理事

2月24日 第2回中国ブロック会議（サン・ビーチ OKAYAMA）貝谷会長

#### 4. 2018 年度役員及び各種団体・委員会・研修会（講師）への会員派遣

##### ●2018 年度役員

役 職	氏 名	所属先	担当業務等
会 長	貝谷 昭	八雲病院	島根県支部長（本協会）
副会長	建田 浩司	新生園	
	足立 須和子	ふあっと	基幹研修 I
理 事	村社 克紀	コミュニティハウスにしき	代議員（本協会）、第 3 回定例会
	森廣 晃一	松江市立病院	災害対策委員（本協会）
	戸谷 亜矢子	八雲病院	
	糸田 美由紀	松江青葉病院	基幹研修 I
	石田 亮子	アクティヴきたほり	
	金阪 幸之	隠岐病院	
	矢野 喬夫	海星病院	研修会（2 月）
	青木 朋子	ふあっと	
	西尾 和子	出雲市立総合医療センター	第 2 回定例会
	平野 洋平	エスポアール出雲クリニック	災害対策委員（本協会）、第 3 回定例会
	河原 恵祥	生活介護事業所にじいろ	研修会（2 月）
	東 正志	はあもにいほうす	
	小川 諒	松ヶ丘病院	
監事	高尾 由美子	エスポアール出雲クリニック	
	杉原 宣子	杉原クリニック	
事務局	飯島 健太	県立こころの医療センター	事務局長、基幹研修 I、第 3 回定例会
	佐藤 寛志	県立心と体の相談センター	理事会、第 2 回定例会
	鍵山 泰子	県立こころの医療センター	会員情報管理
	宇谷 祐也	同 上	電子メール・ホームページ管理
	藤丘 絵里子	同 上	会計
	郡司 結香	同 上	会計
	上田 望	同 上	会計
	家迫 優人	同 上	理事会・会計

●定例会・研修会及びワーキンググループ担当者

		役 員	事務局・会員担当者		
ワーキング		高 尾 杉 原 金 阪	松 江	神田 真彦	重松 大志
			隠 岐	金阪 幸之	
			出 雲	形部 周平	柏井 優
			雲 南	河原 恵祥	
			西 部	岡崎 博子	藤川太球磨
地域別 研修企画	松江・隠岐	戸谷・村社			
	出雲・雲南	矢野・河原	飯島（事務局）		
	西部	東・小川			
テーマ別 研修企画	S W デイ	西 尾	佐藤（事務局）	大塚 修二	金坂 心一
			乙部 瑞恵		
	基幹研修 I	足立・糸田	飯島（事務局）	錦織 里美	黒川 英朗
	災害対策	森廣・平野	宇谷（事務局）		
	自死対策	青 木	佐藤（事務局）		
	えにしの会	石 田	未定（事務局）		

●団体・委員会等への会員派遣

【団体】

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1) 島根県精神保健福祉会連合会（理事） | 森廣 晃一  |
| 2) 島根県社会福祉協議会（評議員）   | 建田 浩司  |
| 3) 島根県障害者スポーツ協会（評議員） | 矢野 喬夫  |
| 4) 島根県精神保健福祉協会（評議員）  | 高尾 由美子 |

【委員会等】

- |                          |        |       |
|--------------------------|--------|-------|
| 1) 島根県精神医療審査会            | 高尾 由美子 | 石田 亮子 |
| 2) 精神保健福祉審議委員会           | 足立 須和子 |       |
| 3) 島根県運営適正化委員会           | 飯島 竜司  |       |
| 4) 日常生活自立支援事業契約締結審査会     | 糸田 美由紀 |       |
| 5) 島根県福祉人材センター運営委員会      | 津田 真澄  |       |
| 6) 島根県災害時精神保健医療体制運営委員会   | 貝谷 昭   |       |
| 7) 島根県自死総合対策連絡協議会        | 足立 須和子 |       |
| 8) 島根県福祉介護人材確保対策ネットワーク会議 | 青木 朋子  |       |
| 9) 島根県国民医療推進協議会          | 森廣 晃一  |       |

10) 島根県精神障がい者自立支援協議会退院支援部会	戸谷 亜矢子		
11) 島根医療観察制度運営連絡協議会	貝谷 昭	研修部会	飯島 健太
12) 島根県防水協議会	足立 須和子		
13) * 島根県再犯防止推進モデル事業推進会議	貝谷 昭		
14) * 島根県若年性認知症自立支援ネットワーク会議	貝谷 昭		
15) * 島根県社会福祉団体連絡協議会連絡調整会議	貝谷 昭		
16) * 地域包括ケアシステム関係機関連絡会	貝谷 昭		
17) 精神障がい者地域移行・地域定着支援研修企画会議	矢野 喬夫	飯島 健太	
18) しまね災害福祉広域支援ネットワーク会議	森廣 晃一		
19) 精神障がい者社会適応訓練運営協議会	松原 美佳		
20) 松江圏域健康長寿しまね推進会議	深田 里佳		
21) 松江圏域自死総合対策連絡会 (2019年度～休会)	建田 浩司		
22) * 松江市自死対策事業検討会	森廣 晃一		
23) 松江市社会福祉審議会	貝谷 昭		
24) 松江市障がい者虐待防止検討会	貝谷 昭		
25) 松江市障害者総合支援審査会	古川 美緒		
26) 松江市高齢者福祉・介護保険事業計画 推進作業部会 (認知症施策推進部会)	貝谷 昭		
27) 大田市地域ケア会議	岡 幸枝		
28) 浜田圏域健康長寿しまね推進会議	櫛原 稔朗		

### 【その他】

心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健参与員	建田 浩司	山本 直紀
	足立 須和子	糸田 美由紀
	青木 朋子	檜谷 佳誉子
	澤田 真琴	森廣 晃一
	平野 洋平	

### ●研修会等へ講師派遣

- 1) 職場研修サポート事業 (島根県社会福祉協議会事業)
  - ①特別養護老人ホーム 万田の郷 (9月4日)

講義内容 精神疾患のある方への対応

派遣者 西尾 和子 (出雲市立総合医療センター)
  - ②独立行政法人国立病院機構松江医療センター (10月30日)

講義内容 メンタルヘルス

派遣者 原 敬 (松江保護観察所)
  - ③グループホーム暖暖の家 (11月6日)

講義内容 精神疾患のある方への対応

派遣者 糸田 美由紀 (松江青葉病院)

④特別養護老人ホーム しおさい（2月28日）

講義内容 精神疾患のある方への対応

派遣者 三谷 義良（地域密着型特別養護老人ホーム 故郷敬川）

2）日常生活自立支援事業生活支援員研修会：西部会場（9月7日）

講義内容「精神障がい者の特性理解と対人援助」

派遣者 河野 恵理奈（地域生活支援センターらいふ）

3）平成30年度島根県精神保健福祉相談員資格取得講習会

①面接技法の実習（11月15日）松江合同庁舎

派遣者 貝谷 昭（八雲病院）

②精神障がい者の家族の理解と援助（11月21日）松江合同庁舎

派遣者 森廣 晃一（松江市立病院）

●年間活動実績

	理事会・研修会（実行委員会含む）	会議・研修講師派遣等
4月	4/12 中四国大会実行委員会⑧ 4/18 理事会①	4/15 支部長会議（高尾会長）
5月	5/9 中四国大会実行委員会⑨ 5/17 基幹研修Ⅰ実行委員会① 5/19 総会・第1回定例会・理事会②	5/24 精神保健福祉協会理事・評議会（高尾会長）
6月	6/11 中四国大会実行委員会⑩ 6/20 理事会③	6/1 島根県自死総合対策連絡協議会（足立副会長） 6/14 健康長寿しまね推進会議幹事会（櫛原氏） 6/17 本協会定時総会（村社理事） 6/26 島根県スポーツ協会評議委員会（矢野理事） 6/30 中国ブロック災害対策連絡会（森廣理事・平野理事）
7月	7/4 SWD実行委員会③ 7/10 中四国大会実行委員会⑪ 7/12 基幹研修Ⅰ実行委員会② 7/14 SWD（第2回定例会） （ソーシャルワーカーデー） 7/18 理事会④	7/1 島根県当事者連絡会第13回総会（貝谷会長） 7/6 第1回地域包括ケアシステム関係機関連絡会（貝谷会長） 7/19 平成30年度健康長寿しまね推進会議総会及び部会（櫛原氏） 7/27 平成30年度島根県医療観察制度運営連絡協議会（貝谷会長）
8月	8/2 SWD実行委員会（反省会） 8/6 中四国大会実行委員会⑫ 8/8 基幹研修Ⅰ実行委員会③ 8/21 理事会⑤ 8/19 基幹研修Ⅰ	8/1 第1回島根県社会福祉団体連絡協議会連絡調整会議（貝谷会長） 8/26 中国ブロック会議（会長・村社代議員） 8/28 若年性認知症自立支援ネットワーク会議（貝谷会長） 8/28 松江市認知症施策推進部会（貝谷会長）
9月	9/7 中四国大会実行委員会⑬ 9/14～9/15 全国大会（長崎）	9/4 職場研修サポート事業@平田ほのぼの通所介護事業所 （西尾理事）

	9/19 理事会⑥	9/7 日常生活自立支援事業生活支援員研修会西部会場（河野氏） 9/10 心いきいきキャンペーン（黒川氏・春日氏） 9/13 中国ブロック家族会精神保健福祉促進研修会島根大会（貝谷会長） 9/22 しまね県民福祉大会（貝谷会長）
10月	10/3 中四国大会実行委員会⑭ 10/20 第3回定例会・理事会⑦	10/30 職場研修サポート事業@松江医療センター（原氏） 10/31 松江圏域自死総合対策連絡会（貝谷会長）
11月	11/8 中四国大会実行委員会⑮ 11/21 理事会⑧ 11/23～24 中四国精神保健福祉士大会 （島根大会）	11/3 障害者スポーツ指導員講習会（水岩田氏） 11/6 職場研修サポート事業@暖暖の家（糸田理事） 11/13 精神保健福祉大会（貝谷会長） 11/15 精神保健福祉相談員資格取得講習会（貝谷会長） 11/18 全国災害対策委員講習会（森廣理事） 11/20 第2回松江市自死対策検討会（森廣理事） 11/21 精神保健福祉相談員資格取得講習会（森廣理事）
12月	12/19 理事会⑨	
1月	1/16 理事会⑩	1/15 島根県災害時精神保健医療体制運営委員会（貝谷会長） 1/24 平成30年度浜田圏域健康長寿しまね推進会議（櫛原氏）
2月	2/17 研修会（出雲開催） 2/20 理事会⑪	2/13 第3回松江市自死対策検討会（森廣理事） 2/18 第2回しまね災害福祉広域支援ネットワーク会議（森廣理事） 2/20 松江市社会福祉審議会（貝谷会長） 2/24 中国ブロック会議（貝谷会長） 2/28 職場研修サポート事業@特別養護老人ホームしおさい（三谷氏）
3月	3/16 ワーキンググループリーダー 連絡会議（ふあっと） 3/20 理事会⑫	3/6 若年性認知症自立支援ネットワーク（貝谷会長） 3/13 島根県再犯防止推進モデル事業推進会議（事務局佐藤：会長代理） 3/14 松江市認知症施策推進部会（貝谷会長） 3/18 松江市障がい者虐待防止委員会（貝谷会長）

## 5. 2018 年度収支決算報告

### 収入の部

費 目	予 算	決 算	増 減	備 考
前年度繰越	351,062	351,062	0	
会 費	515,000	445,000	△70,000	
年会費	442,000	396,000	△64,000	正会員 122 名×2,000 円 (244,000) 賛助会員 38 名×4,000 円 (152,000)
過年度会費	28,000	22,000	△6,000	正会員 9 名×2,000 円 (18,000) 賛助会員 1 名×4,000 円
入会金	45,000	27,000	△18,000	9 名 (正会員 6 名+賛助会員 3 名) ×3,000 円
預金利息	100	3	△97	
活動補助	174,000	174,000	0	
雑収入	20,000	0	△20,000	
合 計	1,060,162	970,065	△90,097	

### 支出の部

費 目	予 算	決 算	増 減	備 考
会 議 費	40,000	30,099	△9,901	理事会会場費等
研 修 費	280,000	85,107	△194,893	2 月研修会費用
通 信 費	150,000	102,255	△47,745	例会案内等郵送料・インターネット料金等
印 刷 費	100,000	52,748	△47,252	案内文書、理事会及び例会・研修会資料等
事 務 費	30,000	23,624	△6,376	事務用品等
役員行動費	300,000	144,630	△155,370	理事会・会議等交通費
事務局費	50,000	50,000	0	
団体協力費	40,000	50,130	10,130	4 団体 (島根いのちの電話、島根県精神保健福祉協会、島根県精神保健福祉連合会、島根県精神当事者連絡会) ×10,000 円 2018 年 7 月豪雨被災地支援に係る募金 (本協会) 10,000 円+手数料 130 円
備 品 費	30,000	19,963	△10,037	プリンター購入費用
予 備 費	40,162	5,000	△35,162	慶弔費
合 計	1,060,162	563,556	△496,606	

収入合計 970,065 円 支出合計 563,556 円 差し引き残高 406,509 円は次年度会計へ繰り越します。

●2月研修会収支決算報告

収入の部

費 目	予算額	決算額	増 減	備 考
参 加 費	34,000	31,000	△3,000	昼食弁当代 (31名×1,000円)
合 計	34,000	31,000	△3,000	

支出の部

費 目	予算額	決算額	増 減	備 考
講師謝金等	20,000	21,000	1,000	謝金 20,000円 (本協会規定) 講師昼食代 1,000円
会場使用料	15,600	15,600	0	
映画上映料等	30,000	30,360	360	映画上映権使用料 30,000円 (きょうされん) 映画返却料金 360円
昼 食 費	35,000	31,000	△4,000	31名×1,000円
茶菓子・飲物代	5,000	5,067	67	
資 料 代	13,080	13,080	0	映画関連リーフレット「明けない夜はない」 60部×200円 (12,000円) + 送料 1080円
消耗品費等	7,000	0	△7,000	
合 計	125,680	116,107	△9,573	

参加費は昼食費（弁当代）に充て、収支差額 85,107円を県士会会計から支出しました。

●第34回中四国精神保健福祉士大会島根大会収支決算報告

収入の部

費 目	予 算	決 算	増 減	備 考
参加費	1,370,000	1,389,000	19,000	参加者 210 名
正 会 員	1,190,000	1,225,000	35,000	7,000 円（登録料含む）×175 名
準 会 員 等	160,000	64,000	△96,000	8,000 円（登録料含む）×8 名
一般（1日目のみ）	0	92,000	92,000	4,000 円（登録料含む）×23 名
学 生	20,000	8,000	△12,000	2,000 円（登録料含む）×4 名
大会開催準備金	100,000	100,000	0	前回開催県（高知県）より
コンベンション助成金	180,000	180,000	0	島根県 100,000 円、松江市 80,000 円
懇親会費	786,500	786,500	0	6,500 円×121 名
合 計	2,436,500	2,455,500	19,000	

支出の部

費 目	予 算	決 算	増 減	備 考
講師謝礼	305,000	180,981	△124,019	
基調講演	140,000	126,000	△14,000	講師謝礼 100,000 円、宿泊費 26,000 円
パネルディスカッション	15,000	10,000	△5,000	パネリスト謝礼
座 長	20,000	15,000	△5,000	パネルディスカッション、分科会②
分科会発表者等	30,000	29,981	△19	お土産（講師、特別報告・分科会発表者等）
要約筆記・手話	100,000	0	△100,000	
会場費	440,000	418,562	△21,438	
会場使用料	220,000	218,360	△1,640	松江テルサ（テルサホール等）
備 品	200,000	179,682	△20,318	音響、映像等
看 板	20,000	20,520	520	垂れ幕等
事務費	420,000	406,316	△13,684	
印刷外注費	270,000	249,350	△20,650	チラシ、大会案内、抄録集等
通 信 費	30,000	31,326	1,326	依頼文、大会案内郵送料
備品購入費	120,000	125,640	5,640	大会・実行委員会資料費
会議費	50,000	41,263	△8,737	会場使用料等
行動費	160,000	121,660	△38,340	交通費等
雑 費	50,000	49,050	△950	大会スタッフ用弁当代等
東武トップツアーズ	119,000	124,604	5,604	
管理システム使用料	108,000	112,320	4,320	
雑 費	11,000	12,284	1,284	
懇親会費	792,500	803,386	10,886	
飲 食 代	732,000	736,989	4,989	6,000 円×122 名、飲料代 2,100 円×2 名
企画関連費用	60,500	66,397	5,897	500 円×121 名
次年度大会開催準備金	100,000	100,000	0	次回開催県（岡山県）へ
合 計	2,436,500	2,245,822	△190,678	

収入合計 2,455,500 円 支出合計 2,245,822 円 差し引き残高 209,678 円は次年度県士会会計へ繰り入れます。

●監査報告書（※2019年4月15日会計監査済み。総会時写しを追加します。）

## 【第2号議案】2019年度役員を選任に関する件

### 1. 2019年度役員体制（案）

役 職	氏 名	所属先	担当業務等
会 長	貝谷 昭	八雲病院	島根県支部長（本協会）
副会長	建田 浩司	新生園	
	足立 須和子	ふあっと	組織強化担当
理 事	村社 克紀	コミュニティハウスにしき	代議員（本協会）
	森廣 晃一	松江市立病院	災害対策委員（本協会）
	戸谷 亜矢子	八雲病院	
	糸田 美由紀	松江青葉病院	
	石田 亮子	アクティヴきたほり	
	金阪 幸之	隠岐病院	
	矢野 喬夫	海星病院	組織強化担当
	青木 朋子	ふあっと	
	西尾 和子	出雲市立総合医療センター	
	平野 洋平	エスポアール出雲クリニック	災害対策委員（本協会）、組織強化担当
	河原 恵祥	生活介護事業所にじいろ	広報担当
	東 正志	はあもにいほうす	
	小川 諒	松ヶ丘病院	
監事	高尾 由美子	エスポアール出雲クリニック	
	杉原 宣子	杉原クリニック	
事務局	飯島 健太	県立こころの医療センター	事務局長
	佐藤 寛志	県立心と体の相談センター	S W団体連携担当
	鍵山 泰子	県立こころの医療センター	会員情報管理担当
	宇谷 祐也	同 上	電子メール担当
	藤丘 絵里子	同 上	会計担当
	郡司 結香	同 上	会計担当
	上田 望	同 上	会計担当
	家迫 優人	同 上	理事会・会計・広報担当

## 【第3号議案】2019年度運営方針及び事業計画に関する件

### 1. 運営方針（案）

#### （1）会員全体で地域、職域をこえた情報共有ができる体制を作る

従来から県内5地域のワーキンググループを設置し、地域ごとに顔の見える連携と会員から意見を聞くことが出来る体制を作っていましたが、精神保健福祉士の職域として医療・障がい者・高齢者・司法・児童など広がってきているなか、地域だけでなく職域ごとでもどのような動きがあり課題があるのかなどを全体で共有できる体制を作り、必要に応じて本協会、県、地自体へ要望などが行えるようにしていきます。

#### （2）多くの会員に県士会運営（研修の企画・ワーキンググループリーダー）や活動（定例会・研修会・ワーキンググループ）に参加してもらえる体制作り

職域の広がりだけではなく「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」や災害対応など取り組むべきことが増え、関係機関や地域との連携も重要になってきています。

精神保健福祉士の専門性は、自らの所属する機関や職域の中だけで発揮できるものではなく、他職種連携、地域連携の中でより求められるものだと思います。地域・関係機関から「あの機関にはあの精神保健福祉士がいるから安心」「何かあればあの精神保健福祉士に相談したら良い」と思ってもらえる関係が築けるかどうかです。そのために職能団体として全体で専門性を高めていくことが必要ですが、定例会、ワーキンググループの参加者の固定化が続いているため、一人でも多くの会員が県士会の運営や活動に参加してもらえる体制作りを考えていきます。

- ①従来のテーマ別研修の運営委員、ワーキンググループリーダーでの参加の継続をします。
- ②組織強化担当理事を新設し組織体制の見直し（部会制、職域ごとの理事選任など）を行います。

### 2. 県協会事業計画（案）

#### 1) 定例会・研修会及びワーキンググループの開催

##### ●定例会

- 5月 第1回定例会（理事会企画）
  - 7月 第2回定例会 2019ソーシャルワーカーデイ（テーマ別研修）  
日時：7月6日（土） 場所：いきいきプラザ島根
  - 9月 第3回定例会 西部会場（地域別企画：西部担当）
  - 11月 第4回定例会 地域移行について（テーマ別企画）
  - 1月 第5回定例会 災害対策について（テーマ別企画）
- ※その他 10月頃 島根県精神当事者連絡会による映画上映会開催予定（企画協力）

##### ●研修会

- 3月 松江会場（地域別企画：松江・隠岐担当）

##### ●ワーキンググループ（5回/年予定）

## 2) 理事会の開催 (12回/年予定)

●開催予定日：毎月第3水曜日 19:00～ 場所：宍道公民館

開催予定日：4月10日、5月18日、6月19日、7月17日、8月21日、9月18日、10月16日  
11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、3月18日

## 3) 広報活動

●ニュースレターの発行 (2回/年程度)

●ホームページの活用

## 4) 県協会設立40周年記念事業 (2022年) の検討・準備

### 5) 実習指導者の育成

### 6) 被災地支援活動助成及び各種派遣費用の助成

### 7) 自死関連事業への参画

### 8) 研修会等へ講師派遣 (職場研修サポート事業等)

### 9) 団体・委員会等への会員派遣予定者

#### 【団体】

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 1) 島根県精神保健福祉会 (理事)    | 森廣 晃一  |
| 2) 島根県社会福祉協議会 (評議員)   | 建田 浩司  |
| 3) 島根県障害者スポーツ協会 (評議員) | 矢野 喬夫  |
| 4) 島根県精神保健福祉協会 (評議員)  | * 貝谷 昭 |

#### 【委員会等】

- |                            |          |            |
|----------------------------|----------|------------|
| 1) 島根県精神医療審査会              | 高尾 由美子   | 石田 亮子      |
| 2) 精神保健福祉審議委員会             | 足立 須和子   |            |
| 3) 島根県運営適正化委員会             | 飯島 竜司    |            |
| 4) 日常生活自立支援事業契約締結審査会       | * 曳野 由季子 |            |
| 5) 島根県福祉人材センター運営委員会        | 津田 真澄    |            |
| 6) 島根県災害時精神保健医療体制運営委員会     | 貝谷 昭     |            |
| 7) 島根県自死総合対策連絡協議会          | 足立 須和子   |            |
| 8) 島根県福祉介護人材確保推進会議         | 青木 朋子    |            |
| 9) 島根県国民医療推進協議会            | 森廣 晃一    |            |
| 10) 島根県精神障がい者自立支援協議会退院支援部会 | 戸谷 亜矢子   |            |
| 11) 島根医療観察制度運営連絡協議会        | 貝谷 昭     | 研修部会 飯島 健太 |
| 12) 島根県防水協議会               | 足立 須和子   |            |
| 13) 島根県再犯防止推進モデル事業推進会議     | 貝谷 昭     |            |
| 14) 島根県若年性認知症自立支援ネットワーク会議  | 貝谷 昭     |            |
| 15) 島根県社会福祉団体連絡協議会連絡調整会議   | 貝谷 昭     |            |
| 16) 地域包括ケアシステム関係機関連絡会      | * 西尾 和子  |            |

- 17) 精神障がい者地域移行・地域定着支援研修企画会議 矢野 喬夫 飯島 健太
- 18) しまね災害福祉広域支援ネットワーク会議 \*平野 洋平
- 19) 精神障がい者社会適応訓練運営協議会 松原 美佳
- 20) 松江圏域健康長寿しまね推進会議 深田 里佳
- 21) 松江市自死対策事業検討会 森廣 晃一
- 22) 松江市社会福祉審議会 貝谷 昭
- 23) 松江市障がい者虐待防止検討会 貝谷 昭
- 24) 松江市障害者総合支援審査会 \*戸谷 亜矢子
- 25) 松江市高齢者福祉・介護保険事業計画  
推進作業部会（認知症施策推進部会） 貝谷 昭
- 26) 大田市地域ケア会議 岡 幸枝
- 27) 浜田圏域健康長寿しまね推進会議 \*福井 清彦

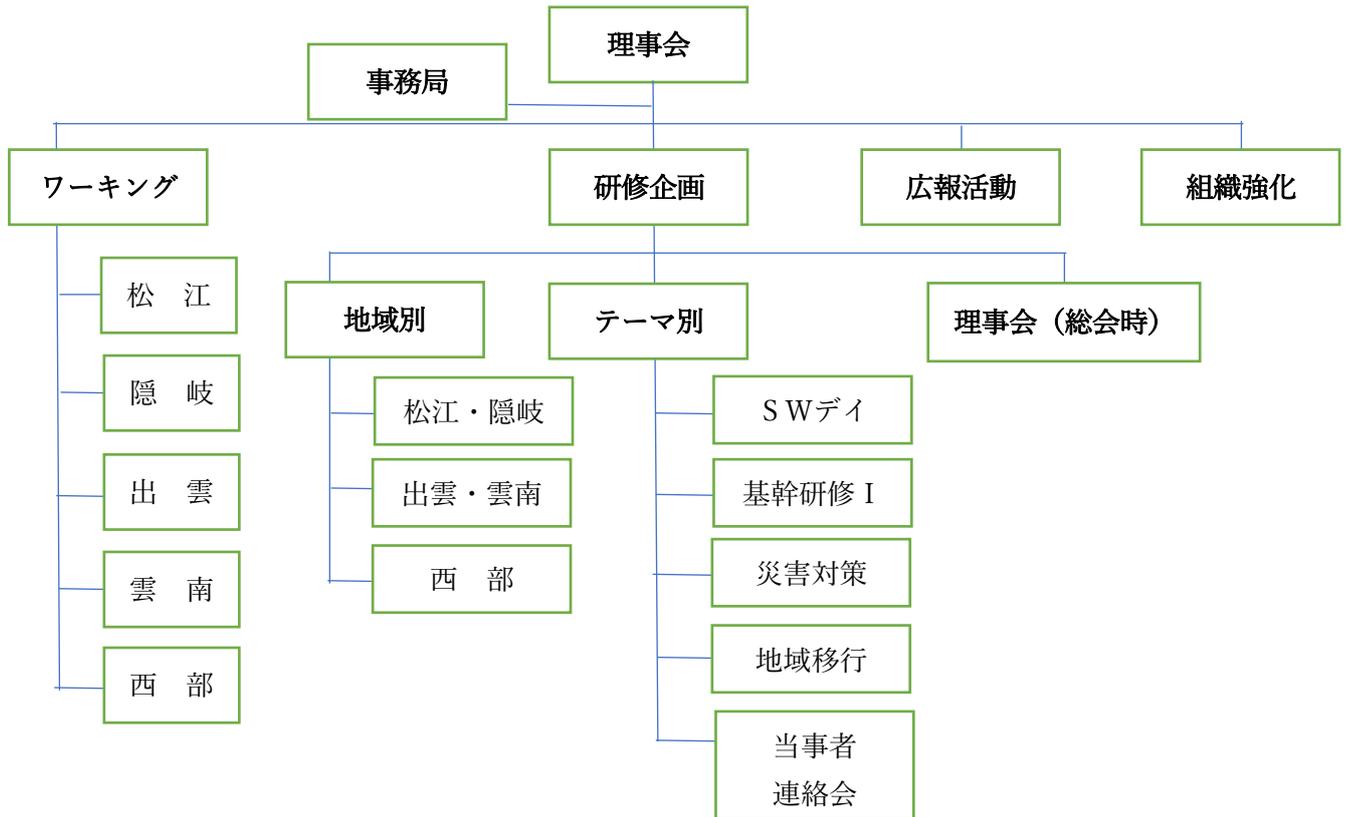
【その他】

- 心身喪失者等医療観察法に基づく精神保健参与員 建田 浩司 山本 直紀  
 足立 須和子 糸田 美由紀  
 青木 朋子 檜谷 佳誉子  
 澤田 真琴 森廣 晃一  
 \*河野 恵理奈 平野 洋平

●担当者一覧

		役員	事務局・会員担当者		
ワーキング		貝谷 高尾 杉原	松江	神田 真彦	重松 大志
			隠岐	金阪 幸之	
			出雲	形部 周平	柏井 優
			雲南	河原 恵祥	
			西部	岡崎 博子	藤川太球磨
地域別 研修企画	松江・隠岐	戸谷・村社	佐藤（事務局）		
	出雲・雲南				
	西部	東・小川	宇谷（事務局）		
テーマ別 研修企画	SWデイ	西尾	佐藤（事務局）	乙部 瑞恵	川本 祐輔
	基幹研修 I				
	災害対策	森廣・平野	宇谷（事務局）	安来・益田・浜田・県央圏域 各1名	
	地域移行	足立・石田	家迫（事務局）		
	当事者連絡会企画	青木・矢野	飯島（事務局）		
広報活動（HP・ニュースレター）		河原	家迫（事務局）		

●組織図



3. 本協会及び島根県支部活動関係（案）

●本協会及び支部役員

- ・島根県支部長 貝谷 昭
- ・代 議 員 村社 克紀
- ・災害対策委員 森廣 晃一・藤川太球磨・平野 洋平

●島根県における精神保健福祉士災害支援体制整備事業の実施

●本協会及び支部協会との連携・活動協力

●実習指導者の育成

●スケジュール

【総会・役員会等】

- ・支部長会議（貝谷支部長）4月14日
- ・定時総会（村社代議員）6月23日
- ・中国ブロック会議：年2回（貝谷会長・村社代議員）

【全国大会・研修会等】

- ・全国大会 in 愛知（8月30日～31日 名古屋国際会議場）
- ・基幹研修Ⅱ 鳥取県で開催予定（7月20日 米子コンベンションセンター）
- ・第35回中四国精神保健福祉士大会岡山大会（12月21日～22日 岡山コンベンションセンター）

## 【第4号議案】2019年度収支予算及び特別会計に関する件

### 1) 特別会計について

第34回中四国精神保健福祉士大会島根大会からの繰り入れ金209,678円のうち200,000円を島根県精神保健福祉士会特別会計とする。特別会計の使用目的は、県協会設立40周年記念事業(2022年)及び災害時の資金に充てる。

### 2) 一般会計収支予算

#### 収入の部

費目	2018年度	2019年度	増減	備考
前年度繰越	351,062	406,509	55,447	
会費	515,000	506,000	△9,000	
年会費	442,000	440,000	△2,000	会員(125名+新入会5名)×2,000円(260,000) 賛助(40名+新入会5名)×4,000円(180,000)
過年度会費	28,000	36,000	8,000	
入会金	45,000	30,000	△15,000	新入会10名×3,000円(30,000)
預金利息	100	100	0	
活動補助	174,000	183,000	9,000	支部活動協力費支払上限額(122名×1,500円)
雑収入	20,000	209,678	189,678	第34回中四国精神保健福祉士大会からの繰入金
合計	1,060,162	1,305,287	245,125	

#### 支出の部

費目	2018年度	2019年度	増減	備考
会議費	40,000	30,000	△10,000	理事会会場費等
研修費	280,000	300,000	20,000	例会1企画50,000円×4回、研修会100,000円
ワーキング活動費	0	100,000	100,000	5圏域×20,000円
通信費	150,000	100,000	△50,000	インターネット料金月額4,695円×12(56,340)
印刷費	100,000	50,000	△50,000	例会・研修会資料等
事務費	30,000	30,000	0	事務用品等
役員行動費	300,000	300,000	0	理事会・会議等交通費、中四国大会派遣費用
事務局費	50,000	50,000	0	
団体協力費	40,000	40,000	0	4団体(島根いのちの電話、島根県精神保健福祉協会、島根県精神保健福祉連合会、島根県精神当事者連絡会)×10,000円
積立金	0	200,000	200,000	特別会計へ
備品費	30,000	20,000	△10,000	
予備費	40,162	85,287	45,125	慶弔費等
合計	1,060,162	1,305,287	245,125	

## 【第5号議案】日本精神保健福祉士協会島根県支部災害対策計画に関する件

### 日本精神保健福祉士協会島根支部災害対策計画（案）

#### 災害の定義

本災害対策計画において、災害とは、人間生活や社会構造に及ぼす影響を重視した「被災地域内の努力だけでは解決不可能なほど、地域の包括的な社会維持機能が障害された状態」という定義を用いる。

（文献：太田保之「災害精神医学の現状」精神医学 38:344-354,1996）

#### 平常時体制

##### 1：情報管理に関する事項

- ①県や市町村などの精神保健福祉情報の収集・整理を実施する。
- ②県や市町村などの行政・地域関係機関との連携・情報交換を実施する。
- ③県や市町村などの防災計画を把握する。

##### 2：災害への備え

- ①県支部における災害対策計画を立案する。（災害対策委員会）
- ②支部会員リストを保管する。（事務局）
- ③県支部の災害対策委員を配置し、本協会へ登録する。（登録は事務局が行う）

##### ・災害対策委員

東部地区（松江・安来）：2名、県央（出雲・雲南を含む）地区：2名、県西部地区：2名 計6名

##### ・災害対策委員会の構成

支部長：1名 副支部長：2名 事務局：1名 災害対策委員：6名 計10名以上

##### ④災害対策委員の役割（平常時）

- （1）災害支援研修の企画・実施・受講等
- （2）自治体等との災害支援協定、支部災害対策計画、活動内容等の見直し
- （3）他県（隣接県及びブロック等）との連携
- （4）「1:情報管理に関する事項」

##### ⑤訓練の実施

- （1）ワーキンググループを活用した会員への安否確認訓練

#### 災害時体制

##### 1：支部災害対策本部の設置

##### ①情報の収集

②災害発生時、災害対策委員は速やかに情報の収集に努め、本協会及び支部災害対策委員のメーリングリストに情報を上げる。寄せられた情報について、支部事務局 が集約を行う。

##### ③支部災害対策委員会の招集・協議

- ・支部長、副支部長、事務局、災害対策委員により支部災害対策委員会の招集について協議を行う。
- ・災害対策委員会で対策本部の設置の可否を決定。

- ・対策本部は被災状況に応じて災害対策委員会で設置場所を決定する。
- ・支部災害対策本部の構成は、支部長・副支部長・事務局長・災害対策委員・災害対策本部設置機関の担当者1名以上とする。

・災害対策本部の活動内容については、日本精神保健福祉士協会 災害支援ガイドラインを参考に行う。

2：支援活動実施のための被災状況に関する情報収集

①被災状況に関する情報収集

- ・災害対策本部に情報を一元化する。

②支部会員の安否確認

- ・地区災害対策委員は会員の安否状況確認を各メール／HP／電話／FAX等を利用し実施する。

3：隣接支部への応援要請

①必要時の隣接支部への応援要請

4：行政への協力申し出、関係機関・職能団体との連携

①行政への協力申し出

②関係機関・職能団体との連携

- ・災害対策本部を事務局以外の機関に設置した場合、本協会、行政機関、関係機関等に報告を行う。

5：本協会災害対策本部への会員派遣要請および会員派遣受け入れ時の調整

①会員派遣要請

②会員派遣受け入れ時の調整

6：復興状況に関する情報収集と支部災害対策本部の解散

①災害対策委員会で対策本部の解散を決定。

7：報告

①本協会へ報告

活動の概要

1：支部における災害発生時

【0～1週間】

- ・支部会員の安否確認の開始及び本協会への報告
- ・災害対策委員は、速やかに情報の収集に努め、本協会及び支部災害対策委員のメーリングリストに情報を上げる。寄せられた情報について、支部事務局が集約を行う
- ・災害対策委員は、可能な限り現地を訪問し、情報収集を行う。又は、現地の構成員から情報収集を行う。
- ・支部災害対策委員会の開催についての協議（支部長・副支部長・事務局・災害対策委員）
- ・支援物資の調達及び搬送
- ・県へ支部としての協力申し入れ
- ・ボランティア保険等の対応
- ・本協会への報告

【1週間～2週間】

- ・災害対策委員会を開催

(委員間での被災状況等の情報共有、災害対策本部設置の可否に関する検討、災害対策本部を設置する場合は設置機関・活動拠点等に関する検討、役割分担等)

- 情報収集及び情報提供（行政等との連携により相互に情報交換を欠かさないこと）
- 支部会員で支援活動への参加が可能な者の把握（※所属長への派遣依頼を手配）
- 災害規模に応じ、他地域への人材の要請（災害対策本部を窓口に近隣支部，本協会，他団体等へ協力を要請）
- 行政機関からの要請に基づき、支援活動を実施する。
- 状況に応じ、自主的な支援活動も行なう。（行政機関の同意のもとに）
- 本協会への報告

#### 【2週間～1ヶ月】

- 災害対策委員会を開催

(情報共有，役割分担，活動の評価及び修正，災害対策本部を設置していない場合は、設置に関する検討等)

- 情報収集及び情報提供（行政との連携により相互に情報交換を欠かさないように）
- 災害規模に応じ、活動可能な会員をもって活動方針に基づき支援活動を実施する。
- 行政機関からの要請に基づき、活動可能な会員をもって現地支援活動を実施する。
- 状況に応じ、自主的な派遣活動も行なう（行政機関の同意のもとに）
- 本協会への報告

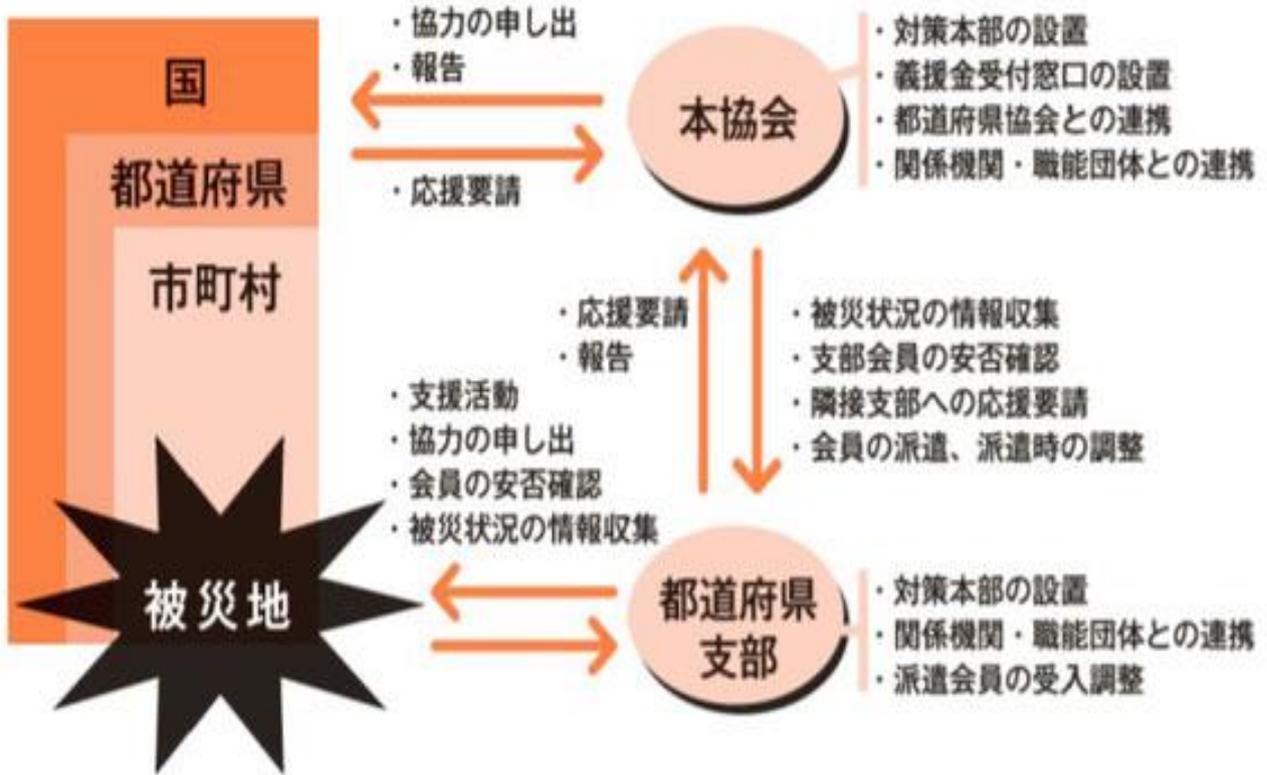
#### 【1ヶ月～3ヶ月】

- 支援活動の継続
- 状況に応じ、活動の収束（平常活動への戻し）を検討・実施
- 長期対策及び支援協力（長期的生活支援・PTSD対策等）
- 活動報告（慰労と支部内での活動シェアリング）

## 平常時の役割



# 災害時の役割



【第6号議案】 島根県精神保健福祉士会規約の変更に関する件

変 更 (案)	現 行
<p style="text-align: center;"><b>第1章 総 則</b></p> <p>第4条 (事業)            (6) <u>公益社団法人</u>日本精神保健福祉士協会島根県支部としての活動に関すること。</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 構成員</b></p> <p>第5条 (種別)            (1) 会員 <u>公益社団法人</u>日本精神保健福祉士会入会者。            (2) 賛助会員 <u>公益社団法人</u>日本精神保健福祉士会入会者ではないが、現に<u>精神保健医療福祉</u>及び関連領域に従事するものであって、本会の趣旨に賛同するもの。</p> <p>第6条 (入会)            2 入会は、総会が別に定める基準により、<u>理事会</u>においてその可否を決定し、会長が本人に通知するものとする。</p> <p>第8条 (構成員の資格喪失)            (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受けたとき。            (4) <u>精神保健福祉士法</u> (以下、「法」という) 第32条1項又は同第2項の規定により登録を取り消されたとき。</p> <p style="text-align: center;"><b>第4章 総会</b></p> <p>第21条 (招集)            3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は<u>電磁的方法</u>をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第5章 理事会</b></p> <p>第30条 (招集)            3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面を記載した書面又は<u>電磁的方法</u>をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。</p>	<p style="text-align: center;"><b>第1章 総 則</b></p> <p>第4条 (事業)            (6) <u>(社)</u>日本精神保健福祉士協会島根県支部としての活動に関すること。</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 構成員</b></p> <p>第5条 (種別)            (1) 会員 <u>社団法人</u>日本精神保健福祉士会入会者。            (2) 賛助会員 <u>社団法人</u>日本精神保健福祉士会入会者ではないが、現に精神医療及び関連領域に従事するものであって、本会の趣旨に賛同するもの。</p> <p>第6条 (入会)            2 入会は、総会が別に定める基準により、<u>役員会</u>においてその可否を決定し、会長が本人に通知するものとする。</p> <p>第8条 (構成員の資格喪失)            (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は<u>会員である団体が消滅した</u>とき。            (4) 法第32条1項又は同第2項の規定により登録を取り消されたとき。</p> <p style="text-align: center;"><b>第4章 総会</b></p> <p>第21条 (招集)            3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第5章 理事会</b></p> <p>第30条 (招集)            3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。</p>

【変更日】 2019年5月18日

## 【報告事項1】ワーキング活動について

2019年3月16日にワーキンググループリーダー連絡会を行い、2018年度の各圏域のワーキンググループ（以下、WG）活動について報告・意見交換を行い、2019年度WG活動について以下の活動方針を確認しました。

### ①運営方針について

各WGの主体的な運営を継続（従来の理事会からの意見集約等の機能も必要時に継続実施する）

### ②開催回数について

5回/年（偶数月開催）を基本に年間計画を立案

### ③開催連絡及び活動内容の周知について

開催案内及び活動報告書は県士会HP（会員専用ページ）へ掲載

### ④参加条件について

所属しているWG以外の他の圏域のWGへの参加も認める

### ⑤活動費用について

2万/年を上限に各圏域へワーキング活動費を支給する

### ⑥WGリーダーの情報共有について

理事会とWGリーダーは相互に情報を共有する

## 【報告事項2】島根県への提言・要望活動及びその回答について

平成31年度島根県の社会福祉政策について、島根県福祉団体連絡協議会を通じて島根県知事に対して以下の提言・要望を行い、平成31年3月28日に回答を得ました。

### ●精神障がい者の円滑な地域移行・地域定着の促進

入院した精神障がい者の円滑な社会復帰を促進するため、保健行政の要である保健所に専門職として精神保健福祉士の配置促進を要望します。

また、精神障がい者の地域移行・地域定着を促進するため、当事者の立場で相談支援を行うピアサポーター・自立支援ボランティアの活用促進のための環境整備を要望します。

## [回答]

### 1. 保健所への精神保健福祉士の配置・人材確保

- (1) 島根県では、平成12年から精神障がい者の地域移行に取り組んでおり、退院率は全国で上位の状況にあります。
- (2) 現在、入院患者の地域移行支援や退院後支援等の人材は、保健師を精神保健福祉相談員として養成することにより対応しています。なお、今年度は16名の保健師を精神保健福祉相談員として養成しました。
- (3) 精神保健福祉士の配置及び人員の確保は、今後保健所の業務量等を勘案し検討していきます。

## 2. ピアサポーターの活用・促進

(1) 患者経験者の立場を生かして、その経験から来る感情を共有することができるピアサポーターは、退院促進のために、各保健所で人材の育成及び活用を図っていますが、以下の状況があります。

①人材育成は、応募する方が少ない

②人材活用はピアサポーター自身の病状が安定しないこともあり、適時の活用が難しい場合も多い

(2) 今後、人材育成方法の見直しやピアサポーター等の活用方法について検討していきます。

### 【報告事項3】 寄付及び義援金について

#### ●自死遺族自助グループ「しまね分かち合いの会・虹」への寄付について

定例会等で募金活動を行い、集まった 7,852 円 を寄付いたしました。

#### ●西日本豪雨災害義援金について

第 34 回中四国精神保健福祉士大会島根大会にて募金活動を行い、集まった 7,734 円 を日本赤十字社 7 月豪雨災害義援金口座へ「中四国精神保健福祉士大会」名義にて振込を行いました。

### 【報告事項4】 電子メールの活用にかかる会員のアドレス登録について

2019 年度より電子メールの活用について本格実施致します。ご理解いただくとともにメールアドレス登録手続きにご協力をお願い致します。

#### ●電子メールの使用目的及び個人情報の管理について

- ・会員の皆様へ迅速かつ効率的な情報提供・意見集約などを行うことを目的として導入します。
- ・定例会及び研修会等の案内をはじめ、その他県士会に関連する情報提供を県士会専用アドレスから会員の皆様に電子メールで発信します。
- ・郵送対応を縮小し、経費削減及び事務業務の効率化を図ります。
- ・島根県精神保健福祉士会の活動にかかる目的以外には使用致しません。
- ・登録された、メールアドレスの個人情報の管理について徹底します。

#### ●メールアドレス登録方法（事務局に以下の内容にてメールを送信してください。）

島根県精神保健福祉士会事務局専用アドレス [shimanepsw@gmail.com](mailto:shimanepsw@gmail.com)

件 名： P 協会メールアドレス登録

記載内容：

①所属先

②氏 名（※原則会員ごとに個別に登録手続きを行いますが、所属機関の複数の会員が同一のメールアドレスを共有される場合は、全員の氏名を記載してください）

③メールアドレス

④その他（電子メールに関する連絡事項があれば記載してください）

※電子メールの利用環境がない会員様について

電子メールの利用環境がない会員様については引き続き郵送による対応を継続致します。

## 【報告事項5】 県士会ホームページの活用及び報告書等の提出について

県士会ホームページ「会員専用」ページにて、以下の届け出、報告書、研修企画関係の書式を整えましたので、所定の様式にて事務局に提出をお願いします。

また、県士会活動に関する報告書（「理事会議事録」・「ワーキング議事録」・「会議派遣・研修講師等報告書」）につきましては、「会員専用」ページにて公開します。

※「会員専用」ログインパスワード **shimane1983**

- 退会及び変更に関すること 「退会届」・「変更届」
- 県士会活動に関する報告書 「ワーキング議事録」・「会議派遣・研修講師等報告書」
- 研修企画に関する各種書式
  - 「研修企画会議議事録」
  - 「研修実施計画書」・研修開催予定日2か月前の理事会までに提出してください。
  - 「研修実施報告書」
  - 「研修実施グループ実行委員出欠表」・行動費（交通費）の算定に用います。